

# 2020年11-12月ITU-R WP 1A 会合報告書

【会合名称】 ITU-R WP 1A 会合

(スペクトラム技術に関する作業部会)

【会 期】 2020年11月24日(火)～12月2日(水)

【開催場所】 Virtual meeting (GoTo Webinar)

【概 要】

本会合は、今研究会期における第1会合である。世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、WP 1A 会合では初となる Virtual meeting の形式で行われた。使用したオンライン会議ソフトウェアは GoTo Webinar である。本会合には、38の主管庁、2の認定された運営機関、8の科学又は産業組織、その他の地域及び国際機関等から、計196名が参加した。日本からは棚田氏、青野氏、高橋氏、松宮氏、玉置氏、前山氏、(総務省)、小川氏(NICT)、庄木氏(東芝)、久保田氏(テレコムエンジニアリングセンター)、田中氏、梶原氏(パナソニック)、石田氏(ワイヤレスクレフ)、小林氏(周波数管理・作業計画委員会)、大谷氏、篠原氏(京都大学)、藤本氏(オムロン)、関野氏(電気興業)、山崎氏(三菱電機)、丸田氏、栗原氏、久保氏、粕谷氏(NTTデータ経営研究所)、森氏、片山氏、地引氏(ワシントンコア)、の計25名が参加した。

日本、米国、ロシア、ブラジル、イタリア、英国、中国等からの寄与文書及び他グループからのリエゾン文書71件と、前研究会期から持ち越された文書12件の計83件の入力文書が審議され、24件の出力文書が作成された。

会議では、前研究会期と同様に以下の3つの Working Group (WG) 等が設置され、各議題について審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 WP 1A 会合の構成と各グループの担当議題

<b>Working Party 1A 議長：Raphael GARCIA DE SOUZA 氏 (ブラジル)</b>
Working Group 1A-1 議長：John SHAW 氏 (BBC) 担当：電力線搬送通信 (PLT) システムを含む無線通信システムと有線電気通信の共存及びその関連事項
Working Group 1A-2 暫定議長：Frank ERNST 氏 (ドイツ) 担当：ワイヤレス電力伝送 (WPT) とその関連事項
Working Group 1A-3 議長：Brandy Jo SYKES 氏 (Apple Inc.) 担当：WRC-27 暫定議題 2.1 と他の議題及び課題

1	Working Group 1A-1：電力線搬送通信（PLT システムを含む無線通信システムと有線電気通信の共存及びその関連事項.....	3
1.1	ITU-R 報告 SM.2351-2（SMART GRID UTILITY MANAGEMENT SYSTEMS）の改正 .....	3
1.2	有線通信システムの開発に関する研究.....	4
1.3	無線通信機器以外からの無線通信業務への不要発射の影響に関する研究.....	4
1.4	CISPR（国際無線障害特別委員会）無線データベース .....	8
1.5	有線通信と無線通信の共存に関する CORRESPONDENCE GROUP（CG）の活動 .....	10
2	Working Group 1A-2：ワイヤレス電力伝送（WPT）及びその関連事項 .....	11
2.1	ITU-R 研究課題 210-3/1- WIRELESS POWER TRANSMISSION の改正 .....	11
2.2	WPT NON BEAM に関する研究 .....	11
2.3	WPT BEAM に関する研究.....	14
3	Working Group 1A-3：WRC-23 暫定議題 2.1 と他の議題及び課題.....	18
3.1	ITU-R 報告 SM.2352 の改正 .....	18
3.2	決議 731（改 WRC-19）に基づく研究.....	18
3.3	不要放射に関する研究.....	20
3.4	その他.....	21
4	文書一覧.....	23
4.1	入力文書 .....	23
4.2	出力文書 .....	28

# 1 Working Group 1A-1：電力線搬送通信（PLT システムを含む無線通信システムと有線電気通信の共存及びその関連事項

## 1.1 ITU-R報告SM.2351-2（Smart Grid Utility Management Systems）の改正

---

入力文書：1A/454（Annex 10）、31（WP 5A）、61（英国）、64（WP 5A）

出力文書：1A/TEMP/2

### 【主要結果】

ITU-R 研究課題 236/1 に関連して進められている ITU-R 報告 SM.2351-2 の改正草案に向けた作業文書は入力文書に基づき修正した上で、改正草案に格上げし次回会合に持ち越すことになった。ただし、一部の内容が時代遅れになっていることに加え、十分な改正を行うことが難しいという理由から、本報告の有用性に疑問が呈されており、文書自体の廃止を含めて次回会合以降に改めて議論することで合意した。

### 【審議概要】

前研究会期から持ち越された ITU-R 報告 SM.2351-2（スマート・グリッドユーティリティ管理システム）の改正草案（1A/454 Annex10）が審議された。これに対し英国から主に ITU-T SG 15 の活動状況報告の詳細化等を含む入力文書が提出された（1A/61）。英国から今回の会合では CISPR 関連作業などで時間が十分に取れないことが予想されるため、英国提案をそのまま次回会合に持ち越すことにより各国主管庁が内容を確認する時間を確保することが提案され、合意された。

また、本文書に掲載されているドイツの実例について、10年ほど前の情報が更新されないままになっていることが指摘された。ドイツからは、今後情報の更新を行いたいとの意向が示されたため、当該セクションにその旨を記述し、既存の記述は削除された。

米国からは 3GPP の最新動向について言及されていないことが指摘され、追加すべきではないかとの意見が出されたほか、英国からは改正作業の必要性についても改めて議論が必要であると提起された。本文書については長らく研究を続けてきた経緯があり、仮に同文書の研究を打ち切りとすれば現在までの作業も無駄になってしまうことが懸念事項として挙げられた。一方で、本文書のステータスについて、議長は草案への格上げを提案した。米国は文書の廃止も選択肢とされている中で格上げは不適切であるとしたものの、これを支持する意見が他になかったことから同文書は議長の提案通り 作業文書から改正草案へと格上げされ、次回会合にて継続審議することとなった。

## 1.2 有線通信システムの開発に関する研究

---

### 1.2.1 ITU-T SG 15関連活動

入力文書：1A/460、461 (ITU-T SG 15)、463 (WP 6A)、3、4、34、35 (ITU-T SG 15)  
出力文書：1A/TEMP/10

ITU-T SG 15 から、Home Network (HNT) 及び Access Network (ANT) に関する研究の進捗を知らせるリエゾン文書が送付された。WP 1A からは、これらの情報提供への謝意を伝えるとともに、新たに ITU-R 報告 SM.[EMI-IOT]に向けた作業文書を策定していることを連絡するリエゾン文書を発出した (TEMP/10)。また、ITU-T SG 15 からのリエゾン文書 (1A/460) 及び WP 6A から情報としてコピーされた ITU-T SG 15 宛のリエゾン文書 (1A/463) は G.mgfast-PSD 規格に関する内容であり、いずれも情報としてノートされた。

### 1.2.2 ITU-R新報告草案SM.[MIMO\_PLT]

入力文書：1A/454 Annex 11  
出力文書：なし

ITU-R 新報告草案 SM.[MIMO\_PLT]に向けた作業文書 (1A/454 Annex 11) については、議長から、前回までに指摘されていた規制や技術において不明確な部分他グループや外部組織からの結論を待っている状態であることが紹介された。今回は本件に関連する入力文書もなく、進捗がなかったことから、同文書を改めて議長報告に添付し、情報の提供を待って次回以降に審議を再開することで合意した。

## 1.3 無線通信機器以外からの無線通信業務への不要発射の影響に関する研究

---

入力文書：1A/454 Annex12、465 (ITU-T SG 5)、5 (BR)、8 (CISPR/F)、11 (CISPR/B)、12 (EBU)、22 (イタリア)、30 (WP 5B)、37 (WP 7C)、38 (IMO)、71 (WP 1C)  
出力文書：1A/TEMP/1、3、4、9

#### 【主要結果】

- LED 照明からの干渉の報告が多く上がっていること、最近になってその原因の解明が進んでいることを伝達する CISPR 宛リエゾン文書を策定した
- ITU-T SG 5 からの返答リエゾン文書に対し、謝意を述べる返信を送付した。
- CISPR/B からの CISPR28 の修正に関連する問い合わせへの返答リエゾン文書を策定した。
- WP 1A が検討していた新研究課題草案を WP 7C が提案した新研究課題草案と統合し、新 ITU-R 研究課題草案 1/[IMPACT\_UNINTENTIONAL\_ELECTROMAG]を策定し、次回会合に持ち越した。
- 家庭用電気機器からの干渉に関する ITU-R 新報告草案 SM.[EMI-IOT]については入力文書がなかったことから前回会合の議長報告添付文書をそのまま次回会合に持ち越すことで合意した。

### 1.3.1 LED照明からの干渉に関するCISPRとのリエゾン

入力文書：1A/8 (CISPR/F)、30 (WP 5B)、38 (IMO)

出力文書：1A/TEMP/1

船上でのLED照明器具からの干渉に関する報告に対するCISPRからの返信(1A/8)が送付され、この中でCISPRはこれらはごく稀な現象であり深刻ではないとの見解を示した。これに対し、WP 5Bからはこのような見解に対する懸念を伝え、またCISPRからの質問に網羅的に回答する返信を送付した(1A/30)。また、IMOからは海上通信に関する第16回IMO/ITU合同専門家グループ会合の結果、EMIとの関連性に関する抜粋と船内のLED照明などの影響によるEMIに関する提案やコメントを求めるリエゾン文書が送付された(1A/38)。

これらを受けて、WP 1Aから船上の電気設備(LED照明を含む)を所掌するIEC/TC80及びCISPRに対してLED照明器具からの干渉は頻繁に報告されていること、原因等については最近になって新たに分かっていることなどを伝えるリエゾン文書を策定した。米国から、CISPRに求めている内容が非常に曖昧である旨が指摘されたことから、特にLEDの電源や制御に使用されている絶縁ゲート電解効果トランジスタ(MOSFET: Metal-Oxide-Semiconductor Field-Effect Transistor)などの電子部品についてより詳しく調査することを推奨するとの文言を追加し、具体的なアクションを求めるリエゾン文書をIEC/TC80、CISPR、関連するITU-R WPやIMO宛に送付することとした(1A/TEMP/1)。

LED照明器具からの干渉について、ATDIからは、Lバンドにも影響があることなどが報告され、過去にWPTやPLTからの保護について勧告あるいは報告を策定してきたのと同様、LED照明からの保護についても研究すべきであるとの意見が述べられた。これに対し、WP 1A議長は、その必要性については認めたものの、ITUは主管庁からの寄与文書を受け研究を行う場所であるとして、関心がある主管庁が入力文書を提出することが推奨された。

### 1.3.2 EMIとRFノイズレベルの評価

入力文書：1A/465 (ITU-T SG 5)、12 (EBU)

出力文書：1A/TEMP/4

WP 1Aが前回送付した「EMC規格と制限値—EMIとRFノイズの軽減に関する更なる協力」と題するリエゾン文書への返信としてITU-T SG 5から送付されたリエゾン文書が審議された。この中でITU-T SG 5は、EMC勧告の放出制限値はCISPRの制限値と同様であり、CISPRにおいて当該規定値が変更された場合はITU-T SG 5で検討すると述べた上で、WP 1Aが干渉による障害事例をまとめた文書を策定し、CISPRやITU-T SG 5にどのような種類の製品が無線業務に重要であるかを明確に示すことを求める依頼が述べられた。

これに対し、WP 1Aからは情報提供に謝意を示し、今後のさらなる協力を行う意思がある旨を伝えるリエゾン文書を策定して送付することで合意した(1A/TEMP/4)。また、EBUからは室内人工

ノイズに関する ITU-R 勧告 P.372 の改正について知らせる文書が入力された（1A/12）。これについては特段のコメントはなく情報としてノートされた。

### 1.3.3 ISM機器の干渉からの無線通信サービスの保護（WRC 決議63）

入力文書：1A/11（CISPR/B）

出力文書：1A/TEMP/3

CISPR/B から割当周波数内における工業・科学・医療用（ISM）装置の妨害波レベルのガイドライン CISPR28 は 1997 年以降改正されないままとなっており、CISPR/B ではその扱いを検討中であることを知らせ、参照されている情報の改正状況について尋ねるリエゾン文書が送付された（1A/11）。前回会合において CISPR との協力関係を深めることで合意したこともあり、これに返答するリエゾン文書を発出することで合意された。

議長は、まず ITU-R 内の他の WP からの見解を収集し、更にその返答を WP 1A で確認する必要があるとして、今回は、CISPR からのリエゾン文書を受領したことと、今後情報を集めてから返答する旨を伝えるとの手順を提案したが、カウンセラからは CISPR 28 の中で更新が明らかに必要と思われる部分については早期のその旨を伝える方が良いとの提案があった。

内容については CISPR への SG 1 ラポータグループとのオフライン協議を行い、以下のような点を連絡する リエゾン文書案を策定した。

- CISPR 28 の中で、ITU が指定する ISM 周波数帯における ISM 機器のフィールド強度の測定レベルの範囲を示す表 1 が使用している無線通信規則（RR）の条項はかなり前の版のもので、何度か改正がされていることから適宜更新が必要である。
- 同じく表 1 は、ISM 機器の放出制限値に関する CCIR レポート 1104 の表 3 によるものであるが、このレポート自体は 1990 年に発行されたもので既に使用されておらず、これらの内容は新たな ITU-R 勧告（SM.1056）及び ITU-R 報告（M.2180）に引き継がれている。

リエゾン文書の内容については特段の意見は出なかったが、本件が WP 1A の所掌であることを踏まえ、ITU-R 内の他の WP についての連絡は不要であるとの指摘が米国などから出されたため削除され、CISPR/B のみに送付することで合意した（1A/TEMP/3）。

### 1.3.4 新研究課題草案の策定について

入力文書：1A/5 (BR)、22 (イタリア)、37 (WP 7C)、71 (WP 1C)

出力文書：1A/TEMP/9

ブラジルが2019年無線通信総会 (RA-19) に提出した「電気・電子機器から発せられる意図しない電磁エネルギーが無線通信業務に与える影響」に関する ITU-R 新研究課題草案について、RA-19 では、今研究会期において SG 1 及び SG 3 に直接寄与文書を提出するよう呼びかけた。これを受けて、BR から、SG 1 と SG 3 及び関連グループに対して適切な措置を執るよう呼び掛ける文書が提出された (1A/5)。これを受けイタリアからは、ブラジルによる新課題案に対する修正案と CG の設置を提案し、その ToR 案を含む文書が入力された (1A/22)。

これとは別に、WP 7C からは WP 1A が検討を要請した電気、電子機器から放射による干渉に対する EESS (受動) の保護について、「有線で繋がれた複数の電気機器からの干渉に関する研究課題」と題された新研究課題案を提案する文書が送付された (1A/37)。この文書に対して、WP 1C からは無線通信規則 (RR) の Appendix 10 の報告手順は提案されている研究課題案の considering i) で記述されたケースでも適用可能であるため、当該項目を削除することを提案する文書が送付された (1A/71)。

新研究課題案の内容については WP 7C の提案する研究課題と、ブラジルによる提案内容はどちらも意図しない電磁エネルギーが無線通信業務に与える影響を扱うもので内容は類似しているが、後者の新研究課題案が広く無線通信業務を扱っているのに対して、WP 7C からの提案は EESS (受動) の保護に関する内容のみを扱っており、二つの研究課題を採用すると作業の重複の原因になりかねないとして、2 件を一つの研究課題として統合することが提案された。統合の方針については、WP 7C のフォーカルポイントとして参加していた ESA からも賛意が示されるなど特段の異論はなかったが、ブラジルは本研究課題において研究すべき具体的な課題について記述する decides の箇所を修正しないことを強く主張した。

新研究課題草案については、WG 1A1 傘下にオフライン DG を設置して審議した (議長：Sanders 氏 (米国))。DG において、ESA (WP 7C)、ブラジル、イタリア、米国が中心となって文書の改正を行い、WP 7C 案とブラジル提案の統合が行われたが、RR の脚注に関する記載の正確性等について一部合意に至らなかったことから、当該項目には角括弧と Editorial Note を付けることとし、次回会合で改めて審議するとされた。このような改正を経て同文書は ITU-R 新研究課題草案 1/[IMPACT\_UNINTENTIONAL\_ELECTROMAG] として出力され (1A/TEMP/9)、次回会合で継続審議するとされた。

### 1.3.5 家庭用電気機器からの干渉に関するITU-R新報告草案SM.[EMI-IOT]

入力文書：1A/454 Annex12

出力文書：なし

前回会合で作成を開始した、家庭用電気機器からの干渉に関する ITU-R 新報告草案 SM.[EMI-IOT]に向けた作業文書（1A/454 Annex12）については、今回は入力文書がなかったものの、ブラジルが次回会合に提案を入力する意向を示したことから、そのまま議長報告に添付し、次回以降に審議を再開することで合意した。

## 1.4 CISPR（国際無線障害特別委員会）無線データベース

入力文書：1A/458（SG 1）、462（WP 6A）、13（CISPR/H）、33（WP 7D）、36（CISPR リエゾンに関する SG 1 ラポータグループ）、39（WP 6A）、57（WP 1A CG 議長）、62（CISPR リエゾンに関する SG 1 ラポータグループ）、66（WP 5A）

出力文書：1A/TEMP/18

### 【主要結果】

- 議長が CISPR TR 16-4-4 モデルについて、WP 1A やその他 ITU-R の各 WP などから寄せられた論点をまとめたメモを策定し、今後は CISPR リエゾンに関する SG 1 ラポータグループで議論することで合意した。
- CISPR/H/WG8 及び AHG10（後述）への WP 1A からの参加者については、変更なく Shaw 氏、Meindl 氏、久保田氏の 3 名が当たることで合意した。
- WP 5A 及び WP 7D から送付された、CISPR の 6-40GHz における無線データベース更新に係る情報をまとめたリエゾン文書を CISPR 宛に発出した。

### 1.4.1 無線通信業務を保護するためのEMC放射限界の手法と有効性（CISPR TR 16-4-4）

入力文書：1A/458（SG 1）、462（WP 6A）、13（CISPR/H）、36（CISPR リエゾンに関する SG 1 ラポータグループ）、39（WP 6A）、62（Rap. SG 1 RG-CISPR）、66（WP 5A）

出力文書：なし

SG 1 の CISPR ラポータから、CISPR と合意した協力関係の構築についての現状が報告された（1A/62）。現在は新型コロナウイルス感染症の流行により対面での会議が難しいことなどから、次の会合までの間に ITU-R 側のラポータの間でバーチャル会議の形で議論を行うことが報告された。また、CISPR では無線通信保護のための妨害波制限を扱う CISPR/H に、CISPR TR 16-4-4 の改正を検討する新たな下部組織（WG 8）と、その傘下に無線データベースのメンテナンスを行う組織（AHG 10）を設置したことが報告された。その成果として CISPR からは ITU-R の関連 WP に ITU-R 勧告等について詳細を尋ねるリエゾン文書が送付されるなどしており、今後の協力関係の在り方については再検討の余地がある旨が報告された。



また、工業・科学・医療（ISM）向け高周波装置、高電圧設備、電力系列、電気鉄道における妨害を扱う CISPR/B との間では、新たにリエゾン関係を確立したことから、活動の内容が報告された（1A/458）。これらはほぼ WPT 関連であるが、WG 1A1 に関連する内容も一部含まれている。

CISPR/H/WG 8 及び AHG 10 には現在、WG 1A1 議長で WG 1A の CG 議長を務める Shaw 氏、CISPR への SG 1 ラポータを務める Meindl 氏、同じく WPT 関連の SG 1 ラポータの久保田氏が参加していることが報告され、他に参加希望がいるか照会されたが、申し出はなかった。よって、今後もこの体制で CISPR/H との連携を継続することとなった。

前述の WP 6A からのリエゾン文書（1A/462）では CISPR のデータベース更新に関連する情報を提供したのに対し、CISPR からは大量の質問事項が返信されていた（1A/13）。これに対して、WP 6A からは CISPR 宛に返答が送付された（1A/39）。これらの文書についてはすべてノートされた。

英国からは、これらのリエゾン文書が例証するとおり CISPR から ITU-R に対して様々な要求が行われているが、ITU-R の主要な任務は周波数割当表の維持・更新であり、CISPR に報告義務を負っているわけではない旨や、CISPR と WP 1A の協力の在り方については今後も検討する必要である旨が指摘された。

#### 1.4.2 CISPR無線データベースの更新への協力

入力文書：33（WP 7D）、66（WP 5A）

出力文書：1A/TEMP/18

前回 2019 年 5-6 月会合において、CISPR が策定した無線業務のデータベースは古くなっており、6-40GHz の情報がほとんどないとの相談が CISPR からあったため、その要望に応じて CISPR データベース更新のための情報提供を求めて ITU-R 内の WP に対して WP 1A からリエゾン文書を送付していた。これに対し、WP 7D から電波天文業務関連情報源のリスト（1A/33）が、WP 5A から地上移動業務関連の情報（1A/66）が、それぞれ返信された。

議長は、これらをまとめて CISPR へのリエゾン文書を送付することを提案したが、米国からはこれらを単に転送するのではなく、WP 5A からのリエゾン文書を考慮した内容とすることを提案した。審議の結果、「これらの勧告や報告は、他の無線通信業務からの地上移動業務の保護のために策定されたものである。CISPR が所掌としている電子機器や電気機器は無線業務ではない。したがって、CISPR が対象としている電子・電気機器等に対する制限は、無線通信業務に対する物より厳格なものとなるべきである」という内容を入れたリエゾン文書を策定した（1A/TEMP/18）。

また、このリエゾン文書案には WP 5A からの指摘を受け、LED と監視カメラからの無線通信業務への干渉の懸念が一部の主管庁から挙がっているとする文言が入っていたが、イランが「WP 1A は WP 5A のメッセンジャーではない」などとして削除を求めたことから、この箇所については削除された。これらの改正を経て、同リエゾン文書は CISPR に加えて WP 5A、6A、7D にも送付することで合意した。

## **1.5 有線通信と無線通信の共存に関するCorrespondence Group (CG) の活動**

---

入力文書：1A/454 Annex 13、57 (WP 1A CG 議長)

出力文書：なし

これまで活動してきた有線通信と無線通信の共存と干渉に関するコレスポネンスグループ (CG) は、次の会議の間も引き続き活動することで合意した。前回策定して議長報告に添付していた ToR 案 (1A/454 Annex 13) についても今回改めて確認され、特段の異論はなく合意された。

また、同 CG の前回会合以降活動を報告する CG 議長の報告 (1A/57) は情報として了知された。

## 2 Working Group 1A-2：ワイヤレス電力伝送（WPT）及びその関連事項

### 2.1 ITU-R研究課題210-3/1- Wireless power transmissionの改正

---

入力文書：1A/454 Annex 1（1A 議長）、1A/56（日本）

出力文書：1A/TEMP/19

#### 【主要結果】

次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに改正草案として持ち越された。

#### 【審議概要】

本研究課題の改正の議論は、前回会合で作成された改正草案を修正して新たな改正草案とした上で、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに持ち越された。持ち越されるに至った主な議論は下記のとおり。

- 日本から、1A/56について、1年半前の前回会合以降、特に beam WPT について進捗がみられ、研究課題に反映するよう提案している旨説明された。
- WG 1A2 議長はコンビーナグループを活用して議論することを提案したが、コンビーナが決まらず、結局 WG 1A2 で議論が行われた。
- 前回会合で作成された改正草案は多くの変更を含んでおり、今回会合で日本の提案もあったことから議論が多岐にわたったが、イラン（Arasteh 氏）が口頭で複数の打開案を提案し、それが概ね受け入れられた。日本は、日本提案の趣旨がその提案に含まれると理解し、反対しなかった。
- 日本から、今回多くの変更が生じたため注意が必要であり、今回は改正草案を維持し、次回会合で十分議論し、昇格させればよいとコメントされた。
- WG 1A2 議長は日本の提案を受け入れ、今回の議論で修正された版を WP 1A 議長報告に添付することとして、WP 1A に送付することとなった。

### 2.2 WPT non beamに関する研究

---

入力文書：1A/16（米国）、42（IARU）、54（日本）、60（EBU）、41（ATDI）、49（ドイツ）、50（BBC）、58（EBU-IARU）、17（米国）、21（イタリア）、43（IARU）、44（IARU）、59（EBU）

出力文書：1A/TEMP/20、21、22、23

#### 【主要結果】

- ITU-R 新勧告（報告）草案 SM.[WPT-EMISSIONS]- Limits and Measures to mitigate the impact of Wireless power transmission systems on radiocommunications services operating below [30 MHz] に

に向けた作業文書について、適切な文書フォーマットや内容について議論が紛糾したため、結論が出ず、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。

- ITU-R 報告 SM.2303-2- Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam の改正について、コンビーナグループでのオフライン審議が行われ、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに改正草案として持ち越された。
- ITU-R 報告 SM.2449-0- Technical characteristics and impact analyses of non-beam inductive wireless power transmission for mobile and portable devices on radio communication services の改正について、今回寄せられた入力文書は報告の既存資料を更新したものであり、検討の上、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。
- ITU-R 報告 SM.2451-0- Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services の改正について、今回示された懸案を解決するためには、今後より多くの研究が必要であり、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。

### 2.2.1 ITU-R新勧告（報告）草案SM.[WPT-EMISSIONS]- Limits and Measures to mitigate the impact of Wireless power transmission systems on radiocommunications services operating below [30 MHz] に向けた作業文書について

入力文書：1A/454 Annex 2（1A議長）、1A/16（米国）、42（IARU）、54（日本）、60（EBU）

出力文書：1A/TEMP/20

本件に関して更新された文書は次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- 米国から、本件作業文書は完成されていない状態である上、unwanted emissions は既に ITU-R 勧告 SM.329 にて言及されているため、新たな勧告を作成する必要はないが、議論が継続されるのであれば、報告がより適切なフォーマットである旨コメントされた。
- ブラジルから、作業は実行中であり、作業の中止も報告への格下げも不適切である旨コメントされた。
- イスラエルから、報告の方が容易に作成できるため、コンビーナグループ（CG）にて作業文書を編集し、報告として扱うべき旨提案された。
- 英国から、理論的研究はなされているが、実際の製品、潜在能力、特性についての研究は不十分なため作業を継続すべき旨コメントされた。
- ロシアから、本文書は勧告にすべき旨コメントされた。
- ドイツから、英国の意見を支持し、いったん報告を作成した後勧告にできるか否か検討すべき旨コメントされた。
- イタリアから、作業文書の作成を継続し、米国の意見を支持しない旨コメントされた。
- EBU から、SG 1 において本件に関する報告を既に 3 件作成しているため新たに報告を作成する必要はなく、ITU-R 勧告 SM.1879 と同等の勧告を作成すべき旨提案された。

- IARU から、1A/42 について、WPT EMISSIONS に関する作業を継続すべき理由について主に説明がなされた。また、ITU-R は調整する役割を持つため、CISPR での議論をサポートしていくべきと述べられた。
- フランス及びオランダが、IARU の方針を支持する旨を表明し、作業を継続し勧告化すべきとコメントした。
- 日本の寄書 (1A/54) について、英国から、勧告を正しく構成するという意味では、日本の主張は正しいが、ITU が emission limits を設定する義務は残るため、各国が自由に emission limits を設定できるという記載は困難ではないかとコメントされた。
- オランダから、各国が自由に limits を設けられるのは当然の権利だが、世界中を様々な製品が流通する現在では、国ごとに limits を設けるのは現実的ではないため、検討が必要だとコメントされた。
- 中国及び韓国は、日本に賛成の意を示した。
- ブラジルは、勧告を報告に格下げすることに反対であり、英国の主張を支持する旨表明した。
- 米国から、他にも ITU 勧告がある旨が示され、日本が出した ITU-R 勧告 P.372 は、ITU-R 勧告 SM.1753 に基づいているが、そこで要求しているホワイトノイズの測定には、シングルキャリアノイズやインパルスノイズは含まれていないのはなぜか質問があった。また、ITU-R 勧告 SM.1753 では、ノイズの測定を複数の季節を通じて 24 時間実施すべきとあるが、この指定は無線電力伝送には適さないのではないかとコメントされた。
- EBU から、1A/60 について説明がなされた。
- 韓国から、本提案について、積極的に支持する旨コメントされた。
- BBC (Webber 氏) から、勧告とするには、更なる議論が必要な旨コメントされた。
- 議長から、これまでの議論を踏まえ、CG は設置せず、次回会合に作業文書として持ち越すと述べられた。

## 2.2.2 ITU-R報告SM.2303-2- Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beamの改正について

入力文書：1A/41 (ATDI)

出力文書：1A/TEMP/21

本件に関してコンビーナによって作成された文書は次回 (2021 年 5~6 月開催予定) の WP 1A に改正草案として持ち越された。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- イタリアが本文書のコンビーナとして、イスラエル、米国、その他関係国、議長とメール審議を実施することとなった。
- DG 1A2a での審議内容について、イスラエルから、タイトルを preliminary draft (改正草案) に修正し、議長報告に添付すべきと提案された。

- 議長より、時間がないため、エディトリアルな修正はオフラインで議論することが提案され、本文書は、次回会合に改正草案として持ち越しする旨コメントされた。

### 2.2.3 ITU-R報告SM.2449-0- Technical characteristics and impact analyses of non-beam inductive wireless power transmission for mobile and portable devices on radio communication services の改正について

入力文書：1A/49（ドイツ）、50（BBC）、58（EBU-IARU）  
出力文書：1A/TEMP/22

今回寄せられた入力文書は、報告の既存資料を更新したものであり、検討の上、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- オフライン審議にて文書を作成した旨報告された。会議中に、タイトルの先頭に、“Working Document towards a Preliminary Draft Revision of”と追加する修正がなされた。
- 本文書は、WG議長に送付されることとなった。

### 2.2.4 ITU-R報告SM.2451-0- Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services の改正について

入力文書：1A/17（米国）、21（イタリア）、43（IARU）、44（IARU）、59（EBU）  
出力文書：1A/TEMP/23

本件に関して作成された文書は次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。本件の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- ブラジル、IARU、オランダ、フランスから、主に測定法に関する懸念が示された。
- 英国、オランダから、特定の場合だけではなく、すべての状況を網羅できるようなテストを行う必要があり、持ち越しに賛成する旨述べられた。
- WP 1A2議長から、作業文書としてWP 1A議長報告に添付し、次回会合に持ち越すことが提案された。また、オフラインで継続議論する旨も述べられた。

## 2.3 WPT Beamに関する研究

---

入力文書：1A/459（WP 5D）、14（米国）、18（米国）、15（米国）、55（日本）  
出力文書：1A/TEMP/13R1、12R1、14R1、11R1、15R1、16R1

#### 【主要結果】

- WPT-Beamに関する一般的な議論について、当該資料についてブラジルから説明がなされた。
- ITU-R 新勧告草案 SM.[WPT.BEAM.FRQ]- Frequency ranges for operation of wireless power transmission systems via radio frequency beam に向けた作業文書について、Non Beam WPTで承認

されている周波数帯について、議論が紛糾し、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。

- ITU-R 報告 SM.2392-0- Applications of wireless power transmission via radio frequency beam の改正草案について、WPT EV の記載を削除するかどうかで議論が紛糾し、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに改正草案として持ち越された。
- ITU-R 報告草案 SM.[WPT.BEAM.IMPACTS]- Impact study and human hazard issues for Wireless Power Transmission via radio frequency beam に向けた作業文書について、作業文書への格上げを行うかどうかや、人体防護に関する記述を削除するかについて議論が紛糾し、次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された

### 2.3.1 WPT-Beamに関する一般的な議論について

入力文書：1A/459（WP 5D）

出力文書：なし

- 特段の議論はなし。

### 2.3.2 ITU-R新勧告草案SM.[WPT.BEAM.FRQ]- Frequency ranges for operation of wireless power transmission systems via radio frequency beam に向けた作業文書について

入力文書：1A/454 Annex 4（1A 議長）、1A/14（米国）

出力文書：1A/TEMP/13R1、1A/TEMP/16R1

本件に関して作成された文書は次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越しされた。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- 米国から、1A/14では、Non Beam WPTで承認されている915-921MHz帯の周波数について表の更新を行い、文書を勧告に格上げさせたい旨コメントされた。
- 日本から、日本が現在作成中の影響調査を最終化した後に、勧告案に格上げしてほしい旨コメントされた。
- 英国及びロシアから、言及されている周波数帯は、世界中で使用できるわけではなく、文書の格上げを支持しない旨コメントされた。
- オランダから、格上げを支持しない旨コメントされた。特に、915-921 MHz帯は軍用で使用しており、受け入れることはできないと述べられた。
- ブラジルから、SWG1A2cでの審議内容が説明された。
- ロシアから、文書の昇格は時期尚早であるため、次回会合で議論すべきとコメントされた。
- WG 1A2議長から、本文書を引き続き作業文書として扱うこととされた。
- なお、本件に関する作業計画も策定された（TEMP/16R1）。

### 2.3.3 ITU-R報告SM.2392-0- Applications of wireless power transmission via radio frequency beam の改正について

入力文書：1A/454 Annex 6（1A 議長）、1A/18（米国）

出力文書：1A/TEMP/12R1、1A/TEMP/15R1

本件に関して作成された文書は次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに改正草案として持ち越されました。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- 米国から、1A/18について、Beam WPTの定義を明確にする等修正を加えた旨、説明がなされた。
- 日本から、本提案でのWPT EVはマイクロ波を用いたBeam WPTのアプリケーションであり、Non Beam WPTではないため、WPT EVについての記述は削除せず、残すべきであるとコメントされた。また、2.4GHz、5.8GHz帯に比較して915MHz帯が優位であるとの表現について、周波数帯の優位性はアプリケーションによるため。優劣についての表現はしない方がよいとコメントされた。
- ブラジルから、SWG1A2cでの審議内容が説明された。
- イスラエルから、Preliminary draft（改正草案）への昇格を支持する旨コメントされた。
- 議長から、次回会合に改正草案として持ち越すことがコメントされた。
- なお、本件に関する作業計画も策定された（TEMP/15R1）

### 2.3.4 ITU-R新報告草案SM.[WPT.BEAM.IMPACTS]- Impact study and human hazard issues for Wireless Power Transmission via radio frequency beam に向けた作業文書について

入力文書：1A/454 Annex 8（1A 議長）、1A/15（米国）、55（日本）

出力文書：1A/TEMP/14R1、1A/TEMP/11R1

本件に関して作成された文書は次回（2021年5～6月開催予定）のWP 1Aに作業文書として持ち越された。本文書の審議内容及び持ち越されるに至った主な議論は以下のとおり。

- 米国から、1A/15について、915 MHz帯で動作するWPTシステムに関連した新たな影響調査を追加した旨説明がなされた。また、作業文書の格上げについても提案する旨が示された。
- ロシアから、新たな情報の追加と、作業文書の格上げを支持しない旨表明された。
- イスラエルから、米国が人体防護に関する記述のあるSection 9を削除する理由について議論する必要がある旨コメントされた。
- 英国から、人体防護に関する問題は重要であり、調査を続けるべきであり、削除されるべきではない旨コメントされた。
- 日本から、1A/55について、今年の7月に総務省で省令改正に向けた屋内Beam WPTの技術的条件の報告書が完成したので、その結果を本作業文書に反映するとともに、Beam WPTシステムの周波数レンジに関する新勧告の作成のベースとなるよう章立てを見直す提案がなされた。



- イスラエルから、ICNIRP guidelines のうち、2010 及び 2020 は必要であるが、1998 は古く、ITU-R 報告 SM.2303-2 改正草案にも記載済みのため削除すべきと提案された。
- 日本から、多くの国が 1998 を参照しているため、単純に削除はできないが、次回会合で状況を説明することは可能である旨コメントされた。
- イスラエルから、日本の指摘を受け、削除はしないと述べられた。
- 議長から、次回会合に作業文書として持ち越し、継続議論することがコメントされた。
- なお、本件に関する作業計画も策定された (TEMP/11R1)

### 2.3.5 改正CISPRへのリエゾン文書

入力文書：1A/62

出力文書：1A/TEMP/24

- 審議の結果、以下のリエゾン文書が承認され、WP 1A から送付されることとなった。
- Draft reply liaison statement to CISPR (SUB-COMMITTEE B) on Applications of Wireless Power Transmission Via Radio Frequency Beam (1A/TEMP/24)

## 3 Working Group 1A-3 : WRC-23 暫定議題 2.1 と他の議題及び課題

### 3.1 ITU-R報告SM.2352の改正

---

入力文書：1A/454 Annex 15 (WP 1A 議長報告)、45 (IEEE)、48 (中国)、51 (日本)、52 (日本)、53 (日本)

出力文書：1A/TEMP/5、7

#### 【主要結果】

- 日本からの寄書をベースとして ITU-R 報告 SM.2352-0 の作業文書が更新された。
- 日本からの寄書をベースとしたリエゾン文書が WP 3J、3K、3M へ送付された。

#### 【審議概要】

WG 1A-3 において、ITU-R 報告 SM.2352-0 の改正に関する審議は Offline email DG (議長：小川博世氏 (日本)) を設置して行うことが決定された。1A/52 (日本) の寄書は、1A/45 (IEEE) によって情報が提供されているために、審議しないことになった。

日本からの寄書をベースとして Offline DG において審議を行った結果、第 6 節の内容を IEEE からの提案テキストに差し替えることが合意され、さらに第 5.5 節の日本からの追加テキストの一部の修正が行われるとともに、受動業務保護の観点から更なる検討が必要である点を脚注に追加することが合意された。中国からの提案内容を第 3 節に反映させるために、日本からの提案テキストのマイナーな修正で合意された (1A/TEMP/7)。

日本からの寄書をベースとした WP 3J、3K、3M へのリエゾン文書案については、Offline DG ではコメントがなかったが、WG 1A-3 において米国からの編集上の修正提案を反映させた後、送付が合意された (1A/TEMP/5)。

### 3.2 決議731 (改WRC-19) に基づく研究

---

入力文書：1A/26 (WP 5A)、27、(WP 5A)、29 (WP 5C)、46 (USA)、65 (WP 5A)、67 (WP 5C)、68 (SG 1、5、7 議長)

出力文書：なし

#### 【主要結果】

- 米国が提案した決議 731 に基づく研究の推進方法については議論が紛糾し、71GHz 以上の周波数帯において能動業務と受動業務の共用がどのような条件下で可能であるかを研究するフレームワークを WP 1A が策定する案については合意できなかった。
- SG 1 会合における審議の結果、本件における WP 1A の役割については 1 年後に改めて他 WP における作業の進捗を見てから検討することで合意した。

## 【審議概要】

WRC-19 議題 1.15 に関する審議の結果、改正された決議 731 の中で、改正される前から存在していた invites ITU-R 1（71GHz 以上の周波数帯における受動業務と能動業務の共用検討）について審議された。具体的には、米国から、本件についてはこれまで研究が全くされていないことから、この研究のための新たなアプローチを提起すべく、71GHz 以上の周波数帯において能動業務と受動業務の共用がどのような条件下で可能であるかを研究するための新たな枠組みを設定すべきであるとの作業方針が提案された（1A/46）。一方で関連する WP が属する 3つの SG（SG 1、5、7）における SG 議長間の合意事項として以下の点を連絡する入力文書も提出された（1A/68）。

- Invite ITU-R 1 については WP 7C 及び 7D が主導し、WP 5A 及び 5C が協力する。
- Invite ITU-R 2 については WP 5A 及び 5C が主導し、WP 7C 及び 7D が協力する。
- 一方で、WP 1A は ITU-R 研究課題 237/1 に則って ITU-R 報告 SM.2352 と ITU-R 報告 SM.2450 の研究を推進する。

このように相反する見解が示されたことから、オフライングループ（議長：Amy SANDERS 氏（米国））を設置し、米国提案に基づいて他の WP にその提案を伝えるリエゾン文書を発出する案が検討された。しかし、英国、IUCAF、ATDI など議論に参加した主管庁等から米国提案に対する支持がなく、オフライン協議ではリエゾン文書の策定には至らなかった。そのため、本件は WP 1A プレナリでも改めて議論されたが、米国による提案内容が SG 議長らの合意に反していること、当該項目は高い周波数帯を扱っていることから、多くの主管庁で規制が策定されていないが、今後技術革新により同周波数帯の利用が進めば入力文書が提出される可能性が高いことなどが指摘され、合意には至らなかった。

これを受け、米国は合意が得られなかったということを含めて議論の経過を WP 7C/7D 宛にリエゾン文書として送付することを提案したが、これを支持する意見もなくリエゾン文書の発出は見送られた。さらに WP 7C 議長から、当該項目については既に WP 7C において作業計画の策定を行い、WP 5A/C に対しても協力を要請するリエゾン文書を送るなど、作業が開始していることが報告された。そのため、本件の審議経緯は WP 1A 議長による会合報告に含めるとした上で議論は SG 1 に先送りされた。最終的には SG 1 会合において米国が SG 議長間の合意を暫定的に受け入れることで妥協し、1年後に改めて他の WP における作業の進捗を見極めた上で WP 1A の役割を検討するという形で合意に至った。

なお、前述の SG 議長間の合意で WP 5A 及び 5C が主導し、WP 7C 及び 7D と協力して行うとされた、決議 731 の invites ITU-R 2 に関連し、WP 5A 及び WP 5C が WP 7C 宛に提出した、陸上移動業務と固定業務の 275-450 GHz 帯における共用検討のため EESS（受動）の特性について尋ねるリエゾン文書（1A/27、1A/29）及び陸上移動業務と固定業務の 296-306 GHz、313-318 GHz 及び 333-356 GHz における EESS（受動）を保護するための技術に関するリエゾン文書（1A/65、1A/67）については特段の異論なくノートされた。また、WP 5A が WP 3J、3K、3M 宛に提出した、275-450GHz 帯

における陸上移動業務の技術・運用特性に関する ITU-R 報告 M.2417-0 の改正に関するリエゾン文書も特段の議論はなくノートされた。

### 3.3 不要放射に関する研究

---

入力文書：1A/455 (WP 1C)、10 (WP 5D)、28 (WP 5C)、47 (中国)  
出力文書：1A/TEMP/6、8

#### 【主要結果】

- 中国からの入力文書 (1A/47) に基づき、帯域外領域での不要放射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-6 の改正作業を開始し新たな付属文書 (付属文書 7) を追加した。
- 同勧告に関する改正作業を開始したことを WP 5B 及び WP 6A に知らせるためのリエゾン文書を発出した。

#### 3.3.1 スプリアス領域における不要放射 (ITU-R勧告SM.329-12)

入力文書：1A/455 (WP 1C)、10 (WP 5D) .  
出力文書：なし

スプリアス領域における不要放射に関する ITU-R 勧告 SM.329 の改正の是非について、WG 1A3 では、前回会合において WP 5D 及び WP 1C からの追加の情報が必要であるとの合意に達しており、今会合においても進捗はなかったことから保留となった。

なお、本件に関連してアクティブアンテナを利用する IMT 無線機器の全放射電力 (TRA) の OTA 測定方法に関して連絡する WP 1C (1A/455) 及び WP 5D (1A/10) 間の連絡リエゾン文書がコピーされており、これらについては特段の議論はなくノートされた。

#### 3.3.2 帯域外領域での不要放射 (ITU-R勧告SM.1541-6の改正)

入力文書：28 (WP 5C)、47 (中国)  
出力文書：TEMP/6、8

中国から 2017 年に ITU-R 勧告 BS.1114 においてシステム H として追記された中国の地上デジタル音声放送方式 CDR (Convergent Digital Radio) について ITU-R 勧告 SM.1541 に 6 つのモードに応じたスペクトラムマスク等を追加する提案が入力された (1A/47)。この提案については冒頭に Annex 7 までの変更がないことを明記した上で作業文書として議長報告に添付し、次回以降に継続審議とすることで合意した (1A/TEMP/6)。

また、本文書の改正作業を開始するにあたり、WP 5B と WP 6A 宛にリエゾン文書送付することで合意した。このリエゾン文書では、現時点の作業文書では Annex 7 のみが改正されたこと、また ITU-R 勧告 SM.1009-1 (87-108MHz における音声放送業務 108-137MHz における航空業務の両立性) を変更するものではないことを伝える内容とされた (1A/TEMP/8)

なお、2019年4月のWP 5C会合において中国から、不要放射に関するFシリーズ勧告の策定の提案があり、不要放射自体はSG 1の所掌であることから、WP 5CからWP 1A宛にWP 5Cの所掌である固定業務以外の不要放射について、どの組織にて議論するのが適当であるかの見解を求めるリエゾン文書を送付した。これを受けた2019年5-6月のWP 1A会合では不要放射に関する内容はWP 1A (SG 1)の所掌である旨を返答していた(5C/657)。これに関連して、WP 5Cにおいてはその後の議論を経てFシリーズ勧告の策定をしないことで合意されたため、WP 1Aに対して本件を連絡するリエゾン文書が送付され(1A/28)、情報として了知された。

## 3.4 その他

---

### 3.4.1 WRC-27暫定議題2.1 (WRC決議663)

入力文書：1A/19 (WMO)  
出力文書：なし

本会合における決議 663に関連する入力文書はWMOから提出されたWRC-23議題に関する見解を述べる文書(1A/19)のみであった。本文書ではWRC-27暫定議題2.1については、EESS(受動)に割り当てられた周波数帯の一部と重複していることから、EESS(受動)の保護が確保されなければならないとのWMOの見解が読み上げられ情報として了知された。

### 3.4.2 ITU-R新勧告草案SM.[OPTICAL WIRELESS]

入力文書：1A/454 Annex 14  
出力文書：なし

光無線通信に関するITU-R新勧告草案SM.[OPTICAL WIRELESS](1A/454 Annex 14)については、今回会合においては入力文書がなかった。そのため、この添付文書は改めて今回会合の議長報告に添付して次回以降に審議を続行することで合意した。オランダが次回までに韓国とも相談しながら新たな入力文書を提出する意向を表明した。

### 3.4.3 SG 1に割り当てられた勧告と報告のエディトリアル修正

入力文書：1A/69 (SG 1議長)  
出力文書：なし

SG 1に割り当てられた勧告と報告のエディトリアルな修正はそれぞれの文書を担う各WPで行われることになっている。前研究会期には韓国が議長を提供して主要な役割を果たしており、今研究会期も引き続き韓国が中心的な役割を果たすことを申し出ており、Joo-young Sung氏がCG議長として推薦された(1A/69)。韓国から作業が膨大になるため、各WPから1名ずつフォーカルポイントを選出するよう要請され、WP 1AからはG. Owen氏(オランダ)が選任された。なお、当初このCGの所掌は勧告と報告のエディトリアル修正とされていたが、研究課題についてもその作業範囲

に含めるべきであるとの意見が出され、特に異論がなかったことから、研究課題についても作業を行うことで合意した。

## 4 文書一覧

### 4.1 入力文書

\* 前研究会期から持ち越された入力文書

文書番号	提出元	表題	
454* +Ann 1-15	Chairman, WP 1A	Report on the sixth 2015-2019 meeting of Working Party 1A (Geneva, 28 May - 5 June 2019)	第6回 WP 1A 会合 (2019年5月28日~6月5日) の議長報告
455*	WP 1C	Liaison statement to Working Party 5D (copy to WP 1A) – Test methods for over-the-air TRP measurements of IMT radio equipment utilizing active antennas	アクティブアンテナを用いる IMT 無線装置 OTA TRP 計測の試験手法に関するリエゾン文書
456*	ITU-T SG 5	Liaison statement on working being carried out under study in ITU-T Study Group 5 Question 3/5	ITU-T SG 5 研究課題 3/5 で行われている作業に関して知らせるリエゾン文書
457*	WP 1B	Reply liaison statement to Working Party 6A (copy for information to WPs 1A, 5A, 5B and 7A) – Frequency use by non-beam Wireless Power Transmission for Electric Vehicle (WPT-EV) applications using magnetic resonance power transfer	WP 6A へのリエゾン返答文書 (WP 1A、5A、5B、7A へのコピー) EV 用ノンビーム WPT のアプリケーションにおける周波数利用
458*	SG 1	Reply liaison statement to CISPR (copy to ITU-R WPs 1A, 5A, 5B, 6A and 7A) – Establishment of liaison between CISPR-B and the relevant groups in ITU-R	CISPR-B と ITU-R の関連グループとの間のリエゾン設立に関するリエゾン文書
459*	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 1A – Characteristics of terrestrial IMT systems for studies on the impact of WPT-Beam on IMT systems	WPT ビームの IMT システムへの影響を検討するための地上 IMT システムの特徴に関するリエゾン返書
460*	ITU-T SG 15	Liaison statement on the determined G.9710 (ex G.MGFAST-PSD) (reply to ITU-R LS15 and LS32)	G.9710 に関するリエゾン文書
461*	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan	HNT の新バージョンに関するリエゾン文書—標準の概要と作業計画
462*	WP 6A	Liaison statement to CISPR (copy for information to SG 1 and WPs 1A, 5A, 5B and 7A) – Update to broadcasting services protection requirements in the CISPR radio services database	CISPR 無線業務データベース更新に資する放送業務の保護に関するリエゾン文書
463*	WP 6A	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 15 (copy for information to WP 1A) – Determination of the G.9710 standard (ex G.mgfast-PSD)	G.9710 規格の決定に関するリエゾン返書
464*	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Working Parties 1A, 1B and 1C on collaboration - ITU-D Study Group 1 Question 2/1: Strategies, policies, regulations and methods of migration and adoption of digital broadcasting and the implementation of new services	ITU-D SG 1 研究課題 2/1 から ITU-R WP 1A、1B、1C へのリエゾン文書 (課題 2/1: デジタル放送移行、採用と新サービス実施の戦略、政策、規制、方法についての協力に関して)
465*	ITU-T SG 5	Liaison statement on EMC standards and limits – Further cooperation on reducing EMI and RF noise	EMC 規格と制限値に関するリエゾン文書
466*	ITU-T SG 5	Liaison statement on work being carried out under study in ITU-T Q3/5	ITU-T 研究課題 3/5 で実施されている研究に関するリエゾン文書
1	WP 1A	Documents to be carried over from the 2015-2019 study period	前研究会期 (2015-2019年) から持ち越された文書リスト
2	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 7/2 to ITU-T SG5 WP1/5, ITU-R WP 1A, WP 1C, WP 4A, WP 5A, WP 5C, WP 5D and WP 6A on strategies and policies concerning human exposure to EMF	ITU-D SG 2 研究課題 2/7 からの EMF への人体曝露に関する戦略と指針に関するリエゾン文書
3	ITU-T SG 15	Liaison on the new version of the Access Network Transport (ANT) standards overview and work plan	ANT の新バージョンに関するリエゾン文書—標準の概要と作業計画
4	ITU-T SG 15	Liaison on the new version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan	HNT の新バージョンに関するリエゾン文書—標準の概要と作業計画
5	BR 局長	Information from the Radiocommunication Assembly 2019 on the potential impact of unintentional electromagnetic energy generated by electrical or electronic apparatus	電気・電子機器から放出される意図しない電磁エネルギーの影響に関する RA-19 からの情報
6	SG 1 議長	Summary of the main results of RA-19 and CPM23-1 related to Study Group 1	RA-19 と CPM23-1 の主な結果のうち、SG1 に関連する事柄についての報告

文書番号	提出元	表題	
7	SG 1 議長	Proposed organization of the work of the Study Group 1	SG 1 の作業構成案
8	CISPR	Response to liaison statement from the ITU-R on interference from LED lighting to maritime VHF communications	LED 照明からの船舶用 VHF 通信への干渉に関するリエゾン文書への返信
9	CISPR	Reply liaison statement to ITU-R on Wireless Power Transfer (WPT)	ITU-R 宛のワイヤレス電力伝送 (WPT) に関するリエゾン返書
10	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 1C (copy to Working Party 1A) - Test methods for over-the-air TRP measurements of IMT radio equipment utilizing active antennas	アクティブアンテナを用いる IMT 無線装置 OTA TRP 計測の試験手法に関するリエゾン文書への返信
11	CISPR	Liaison statement to ITU-R - Request for support from ITU-R concerning publication CISPR 28	リエゾン文書—CISPR28 の発行に関する ITU-R への支援の要請
12	EBU	Input to Working Parties 1C and 3L and to Correspondence Group 3L-7 (copied for information only to Working Parties 1A and 6A) - Revision of Recommendation ITU-R P.372 to take account of man-made noise indoors	リエゾン文書—ITU-R 勧告 P.372 の屋内の人工電波雑音を考慮する改正についての情報提供
13	CISPR	Liaison response from CISPR/H to Working Party 6A on their proposal for changes in the radioservices database of IEC	リエゾン文書—IEC 無線業務データベースの改正に関する WP 6A への返答
14	米国	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT.BEAM.FRQ]	ITU-R 新勧告草案 SM.[WPT.BEAM.FRQ] に向けた作業文書への改正提案
15	米国	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] - Impact study and human hazard issues for Wireless Power Transmission via radio frequency beam	ITU-R 新報告草案 SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] に向けた作業文書への改正提案
16	米国	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [WPT-EMISSIONS] - Limits and measures to mitigate the impact of wireless power transmission systems on radiocommunications services operating below [30 MHz]	ITU-R 新勧告草案[WPT-EMISSIONS]に向けた作業文書
17	米国	Proposed revisions to Report ITU-R SM.2451-0 - Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services	ITU-R 報告 SM. 2451-0 への改正提案
18	米国	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-0	ITU-R 報告 SM. 2392-0 改正草案に向けた作業文書の改正提案
19	WMO	Preliminary position on WRC-23 agenda	WRC-23 議題に対する WMO の暫定的なポジションを示す文書
20	ITU-T SG 9	Reply liaison statement on the new version of the Access Network Transport (ANT) standard overview and work plan	ANT の新バージョンに関するリエゾン文書—標準の概要と作業計画に関するリエゾン文書に対する返信
21	イタリア	Editorial amendments of the ITU-R Report SM.2451-0 - Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services	ITU-R 報告 SM.2451-0 に関するエディトリアル改正案
22	イタリア	Proposal for the revision of relevant existing questions dealing with electromagnetic compatibility and unintentional electromagnetic emissions	電磁共用及び意図しない電磁的放出に関する現行問題の改正案
23	BR 局長	Outcome of the sixteenth meeting of the Chairmen and Vice-Chairmen of the Radiocommunication Study Groups, Working Parties and other Subordinate Groups	第 16 回 CVC 会合の結果についての報告
24	ITU-T SG 5	Reply liaison statement on work being carried out in ITU-T SG5 on human exposure to EMF from ICTS (reply to ITU-D Q7/2 - SG2RGQ/200)	ICTS からの EMF 人体曝露に関するリエゾン文書への返答
25	CCV 議長	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)	CCV 議長からの翻訳の一貫性を強化するための協力を求める各 SG/WP 宛のリエゾン文書
26	WP 5A	Reply liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M (copy to Working Party 1A for information) - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0	ITU-R 報告 M.2417-0 の改正に係る WP 3J、3K、3M からの改正に対する謝意と進捗状況を知らせるリエゾン文書



文書番号	提出元	表題	
27	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7C (copy for information to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M, 5C, and 7D) - "Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz"	275-450 GHz 帯における陸上移動業務のアプリケーションの技術運用特性に関するリエゾン文書
28	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 1A - Development of a Recommendation on principles and approaches of limiting unwanted emissions for improving HF electromagnetic environment	中国が WP 5C に提出した不要放射に関する新勧告策提案について情報を求めた件に対する返答
29	WP 5C	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M, 5A, 7B and 7D for information) - Technical and operational characteristics and applications of the point-to-point fixed service applications operating in the frequency range 275-450 GHz	決議 731 (Rev.WRC-19) に基づき、周波数帯 296-306 GHz、313-318 GHz、333-356 GHz の地球探査衛星業務 (受動) 用途の保護を確保するために必要な具体的な条件を検討し決定するべく、WP 7C に共同検討を求めるリエゾン文書
30	WP 5B	Liaison statement to Working Parties 1A and 4C and CISPR - Interference to maritime systems from light emitting diode (LED) lighting located onboard the same vessel	船上における LED 照明機器から海上無線機への EMI に関する WP 5B から WP 1A、WP 4C 及び CISPR へのリエゾン文書
31	WP 5A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 and ITU-R Working Party 1A (copy for information to Working Party 5D) - Utility communication systems	公共事業通信システムに関する ITU-R 新報告案 M.[UCS] (又は ITU-R 新ハンドブック案) に関する WP 5A からのリエゾン文書
32	WP 3L	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 6A - Recommendation ITU-R P.368-9 - Software implementations of ground-wave propagation predictions - GRWAVE and LFMF-SmoothEarth	WP 1A、1B、1C、5A、5B、5C、6A へのリエゾン文書 - ITU-R 勧告 P.368-9 - 地上波伝播予測のソフトウェア実装 - GRWAVE と LFMF-SmoothEarth
33	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy for information to ITU-R Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7A, 7B and 7C) - Liaison between ITU-R and CISPR on the protection of radio services in the 6-40 GHz frequency range	放射妨害波許容値の対象周波数 6~40GHz への拡張に際して ITU-R へ支援を求める CISPR H の寄書に対する、WP7D の返答リエゾン文書
34	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan	HNT の新バージョンに関するリエゾン文書 - 標準の概要と作業計画
35	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the Access Network Transport (ANT) Standards Overview and Work Plan	ANT の新バージョンに関するリエゾン文書 - 標準の概要と作業計画
36	CISPR リエゾンに関する SG 1 ラポー タグループ	Liaison statement to CISPR and CISPR/H (copy to ITU-R Study Groups 1 and Working Parties 1A and 6A) - Additional information about the impact of WPT-EV on LF and MF broadcasting	CISPR 及び CISPR/H からのリエゾン文書 (ITU-R SG 1、WP 1A、6A にコピー) LF/MF 放送における EV 用 WPT の影響に関する追加情報
37	WP 7C	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy to ITU-R Working Parties 1C, 4A, 4B, and 7D) - Protection of EESS (passive) remote sensors against interference caused by radiation from electrical or electronic equipment	電気、電子機器から放射による干渉に対する EESS(受動)の保護に関する情報提供
38	IMO	Report of the sixteenth meeting of the Joint IMO/ITU Experts Group on maritime radiocommunication matters	船舶の無線通信に関する IMO/ITU Expert Group の第 16 回共同会合の報告
39	WP 6A	Reply liaison statement to CISPR and CISPR/H on the protection requirements for the broadcasting service (copy to ITU-R Study Group 1 and Working Party 1A)	放送業務の保護に関する CISPR と CISPR/H 宛の返答リエゾン文書
40	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 7/2 to ITU-T Study Group 5 WP 1/5 and ITU-R Working Parties 1A, 1C, 4A, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7A and 7B on strategies and policies concerning human exposure to EMF	EMF への人のばく露に関する戦略と政策に関するリエゾン文書
41	ATDI	Proposed working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2303-2 - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	ITU-R 報告 SM.2303-2 改正草案に向けた作業文書の提案
42	IARU	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [WPT-EMISSIONS]	ITU-R 新勧告草案 SM.[ WPT-EMISSIONS] に向けた作業文書

文書番号	提出元	表題	
43	IARU	Proposed revisions to Report ITU-R SM.2451-0 - Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services	ITU-R 報告 SM.2451-0 の改正提案
44	IARU	Electrical Noise Area Measurement System (ENAMS)	電気騒音エリア測定システム (ENAMS)
45	IEEE	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0 - Technology trends of active services in the frequency range 275-3 000 GHz	ITU-R 報告 SM.2352-0 の第 6 節に最新の IEEE802 の動向を反映させることを提案する文書。
46	米国	Proposal to initiate work under Resolution 731 (REV. WRC-19)	決議 731 (Rev.WRC-19) について 71GHz 以上での能動・受動業務間の共用可否に係る研究のフレームワーク構築を提案
47	中国	Proposal of preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1541-6 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	ITU-R 勧告 BS.1114 においてシステム H として追記された中国の地上デジタル音声放送方式 CDR (Convergent Digital Radio) について情報を加筆する提案
48	中国	Proposed revisions of the working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0	ITU-R 報告 SM.2352 の第 3 節に WRC-19 の結果を反映させるためのテキストの提案
49	ドイツ	Revision of Report ITU-R SM.2449-0	ITU-R 報告 SM.2449-0 の改正提案
50	BBC	Proposed revision to Report ITU-R SM.2449 - Technical characteristics and impact analyses of non-beam inductive wireless power transmission for mobile and portable devices on radiocommunication services	英国放送協会 (BBC) からの ITU-R 報告 SM.2449 の改正提案
51	日本	Proposed revision to working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0 - Technology trends of active services in the frequency range 275-3 000 GHz	ITU-R 報告 SM.2352-0 の改正草案に向けた作業文書の修正提案
52	日本	Proposed liaison statement to the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0	ITU-R 報告 SM.2352-0 の改正作業に関する IEEE 宛のリエゾン文書
53	日本	Proposed liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0	ITU-R 報告 SM.2352-0 の改正作業に関する WP 3J、3K、3M 宛のリエゾン文書
54	日本	Proposal of working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT-EMISSIONS]	ITU-R 新報告草案[WPT-EMISSIONS]に向けた作業文書の提案
55	日本	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] - Impact study and human hazard issues for Wireless Power Transmission via radio frequency beam	ITU-R 新報告草案 SM.[WPT_EV_IMPACT] に向けた作業文書の改正案
56	日本	Proposed modifications of preliminary draft revision of Question ITU-R 210-3/1 - Wireless Power Transmission	ITU-R 研究課題 210-3/1 改正草案に関する修正提案
57	EMC CG 議長	Recent developments concerning EMC related interference, RF noise, product standards and coexistence with wired telecommunications systems (Questions ITU-R 221/1 and ITU-R 236/1)	EMC に関する CG 議長からの進行報告
58	EBU IARU	Proposed revision to Report ITU-R SM.2449-0 - Technical characteristics and impact analyses of non-beam inductive wireless power transmission for mobile and portable devices on radiocommunication services	ITU-R 報告 SM.2449-0 の改正提案
59	EBU	Comments on proposed revision of Report ITU-R SM.2451 in Document 1A/17	ITU-R 報告 SM.2451 改正提案へのコメント
60	EBU	Status of working document towards draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT-EMISSION]	ITU-R 新勧告草案 SM.[WPT-EMISSION] に向けた作業文書のステータス
61	英国	Revision of Annex 10 to Working Party 1A Chairman's Report 1A/454 - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2351-2 - Smart Grid Utility Management Systems	ITU-R 報告 SM.2351-2: (スマート・グリッドユーティリティ管理システム) の改正報告草案について、更新を行うことを提案

文書 番号	提出元	表題	
62	CISPR リ エゾンに 関する SG 1 ラポー タグルー プ	Report on CISPR activities from June 2019 to November 2020	2019年6月から2020年11月までの CISPR 関連活動に関する報告
63	ITU-T SG 5	Liaison statement on work being carried out under study in ITU-T Q3/5	EMF に関する ITU-T SG 5 における検討結 果を報告するリエゾン文書
64	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 5C, and 5D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UCS] on Utility Communications Systems	ITU-R 新報告草案 M.[UCS]の作成に向け、 情報のアップデートを行ったことを知ら せるリエゾン文書
65	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M and 5C for information) - Assessment of mitigation techniques and specific conditions to be applied to the land-mobile service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333 356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration- satellite service (passive) applications in accordance with RR No. 5.564A	周波数帯域 296 - 306GHz、313 - 318GHz 及 び 333 356GHz の周波数帯域における地球 探査業務(受動)の保護のため、陸上移動業 務に適用される技術的な条件について協 力することを述べるリエゾン文書
66	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 5B and 5D for information) - Liaison between ITU-R and CISPR on the protection of radio services in the 6-40 GHz frequency range	CISPR における 6 - 40 GHz における許容 値計算モデルの検討に対して、関連する WP 5A 管轄の勧告及び報告の一覧を情報 提供するリエゾン文書
67	WP 5C	Liaison statement to Working Party 7C (copy for information to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M and 5A) - Mitigation techniques and specific conditions to be applied to the fixed service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333 356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications in accordance with RR No. 5.564A	RR No. 5.564A に基づく探査衛星業務 (受 動) の保護を確保するための 296-306 GHz, 313-318 GHz および 333-356 GHz に おける固定業務の緩和技術
68	SG 1、SG 5、SG 7 議長	Studies under Resolution 731 (Rev.WRC-19) - Consideration of sharing and adjacent-band compatibility between passive and active services above 71 GHz	決議 731 に基づく研究に関する合意内容 について
69	SG 1 議長	Proposed Correspondence Group on the editorial review and maintenance of ITU-R Recommendations and Reports assigned to Study Group 1	SG 1 に割当てられた勧告と報告のエディ トリアル修正を行う CG 設置の提案
70	BR SG	List of Documents issued (Documents 1A/1 - 1A/70)	発行文書リスト(1A/1-1A/70)
71	WP 1C 議長	Note to Chairman of Working Party 1A regarding Document 1A/37	1A/37 に関する覚書
72	BR 局長	Final list of participants Working Party 1A (e-meeting, 24 November - 2 December 2020)	WP 1A 会合 (2020年11月24日~12月2 日、e-meeting) 参加者の最終リスト

## 4.2 出力文書

文書 番号	表題		提出元
1	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 5B and 4C, and to IMO, IMSO, RTCM and CISPR on Interference from LED Lighting Systems - Interference to maritime systems from light emitting diode (LED) lighting located onboard the same vessel	船舶に搭載された LED 電灯システムからの干渉に関するリエゾン文書	WG 1A-1 (EMC/EMI))
2	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2351-2 - Smart grid utility management systems	ITU-R 報告 SM.2351-2 (スマートグリッド)	WG 1A-1
3	Draft reply liaison statement to CISPR and CISPR/B Sub-Committee - Request for support from ITU-R concerning publication CISPR 28	CISPR 28 の改正に関する CISPR と CISPR/B 宛リエゾン文書案	WG 1A-1
4	Draft reply liaison statement ITU-T Study Group 5 on EMC Standards and Limits - Further cooperation on reducing EMI and RF noise	EMC 規格と制限に関する ITU-T SG 5	WG 1A-1
5	Draft liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM. 2352-0	ITU-R 報告 SM.2352 の改正草案に向けた作業文書に関する WP3J、3K、3M 宛リエゾン文書	WG 1A-3
6	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1541-6 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	ITU-R 勧告 1541-6 の改正草案に向けた作業文書	WG 1A-3
7	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2352-0 - Technology trends of active services in the frequency range 275-3 000 GHz	ITU-R 報告 SM.2352 改正草案に向けた作業文書	WG 1A-3
8	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 5B and 6A - Working document towards a preliminary draft revision to Recommendation ITU-R SM.1541-6 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	ITU-R 勧告 SM.1541-6 改正草案に関するリエゾン文書案	WG 1A-3
9	Preliminary draft new Question ITU-R 1/[IMPACT_UNINTENTIONAL_ELECTROMAG] - Impact of unintentional electromagnetic energy generated by electrical or electronic apparatus to the radiocommunication services	新研究課題 [IMPACT_UNINTENTIONAL_ELECTROMAG] の草案	WG 1A-1
10	Draft reply liaison statement to ITU-T Study Group 15 - Home networking (HNT) and Access Networking (ANT)	HNT と ANT に関する返答リエゾン文書	WG 1A-1
11 (Rev.1)	Detailed work plan for the development of a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.BEAM.IMPACTS]	ITU-R 新報告草案 SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] に向けた作業文書の詳細な作業計画	SWG 1A-2c WPT Beam
12 (Rev.1)	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-0 - Applications of wireless power transmission via radio frequency beam	ITU-R 報告 SM. 2392-0 改正草案	SWG 1A-2c WPT Beam
13 (Rev.1)	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT.BEAM.FRQ] - Frequency ranges for operation of wireless power transmission systems via radio frequency beam	ITU-R 新報告草案 SM.[WPT.BEAM.FRQ] に向けた作業文書	SWG 1A-2c WPT Beam
14	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] - Impact studies and human hazard issues for Wireless Power Transmission via radio frequency beam	ITU-R 新報告草案 SM.[WPT.BEAM.IMPACTS] に向けた作業文書	SWG 1A-2c WPT Beam
15 (Rev.1)	Detailed work plan for the development of a working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-0	ITU-R 報告 SM.2392-0 の改正草案に向けた作業文書の詳細な作業計画	SWG 1A-2c WPT Beam
16 (Rev.1)	Detailed work plan for the development of a working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT.BEAM.FRQ]	ITU-R 新勧告草案 SM.[WPT.BEAM.FRQ] に向けた作業文書の詳細な作業計画	SWG 1A-2c WPT Beam
17 (Rev.1)	Report of WG 1A-3 activities (WRC-27 preliminary agenda item 2.1 and other issues)	WG 1A-3 の活動報告	WG 1A-3 議長
18	Liaison statement to CISPR and CISPR/H (copy for information to Study Group 1 and Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7A, 7B, 7C and 7D) - Liaison between ITU-R and CISPR on the protection of radio services in the 6-40 GHz frequency range	6-40GHz の無線業務の保護に関する CISPR と CISPR/H 宛のリエゾン文書	WG 1A-1
19	Preliminary draft revision of Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	ITU-R 研究課題 210-3/1 改正草案	WG 1A-2
20	Working document towards a preliminary draft new Recommendation [Report] ITU-R SM.[WPT-EMISSIONS] - Limits and Measures to mitigate the impact of Wireless power transmission systems on radiocommunications services operating below [30 MHz]	ITU-R 新勧告草案[WPT-EMISSIONS] に向けた作業文書	WG 1A-2
21	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2303-2 - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	ITU-R 報告 SM. 2303-2 改正草案	WG 1A-2

文書 番号	表題		提出元
22	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2449-0 - Technical characteristics and impact analyses of non-beam inductive wireless power transmission for mobile and portable devices on radio communication services	ITU-R 報告 SM. 2449-0 改正草案に向けた作業文書	WG 1A-2
23	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-0 - Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging on radiocommunication services	ITU-R 報告 SM. 2451-0 改正草案に向けた作業文書	WG 1A-2
24	Draft reply liaison statement to CISPR (Sub-Committee B) on applications of wireless power transmission via radio frequency beam	無線周波数ビームによるワイヤレス電力伝送の応用に関するリエゾン文書案 (CISPR/B 宛)	WG 1A-2